

明治五年八月軍艦艦長日記

0461

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp>

八月一日航海

正午艦位

三十二度三十三分十秒
百三十三度十六分四十分

天候晴

風向東南
風力一乃至二

晴雨計

二九九五
二九八〇

寒暖計
八六

午前四時五分空に崎燈台を右舷正横約廿四里見止針路西に南知南午計
八時五分復信に依り八里對スル實馬力測定ヲナレ九四八ヲ得たり午計
十時至り千早ハ命に依り豊後水道ヲ経テ佐古保向フコトナリ列ラ出ヅタ
頃ニ至リ空雲ヨリ千早ニ打電シテ竹敷ニ直航セシメトセラレタルガ千早ノ芝レヲ
受信シタルヤ石ヤ不明ナリキ本日モ亦捲煙ノ散在スルモノアリテ夜少ノ空中電
氣アリ焉メニ遠巨雷ノ通信ヲ好ム大ナリキ常盤吾妻ハ命に依り常盤艦
長ノ指揮ニ從ヒ佐古保ニ向ケ急航スルコトナリ午後八時五十分列ヲ解キ先
發ス薄暮ヨリ四直哨兵ヲ配シテ警戒ス

〔艦内事業〕

被服洗濯及び雑業

〔信号〕

午前八時三十分

本日午前十時実馬カヲ取り午後報告ス可シ(出雲)

午前九時三十分

千早、下関ヲ至テ佐在係ニ行カレム(出雲)

午後〇時二分

針路南西微西(出雲)

午後零時三十分

午前十時、實馬カ一九四一其回轉八理(本艦ヨリ出雲)

午後四時三分

針路南西(出雲)

午後四時三十分

常盤ヨリ本艦ハ艦長ヨリ參謀ト申ス

二十日午後敵津輕海峡ヲ通過スルモトシバ去ル予日午前

二時敵我ハ艦隊ヲ見セシ依リ北走セシヤモ計難ト果

シ然ラバ該海峡通過針路南西轉レ對馬海峡、

虚ヲ襲フモ強チ不可能ノコトアラズ暹名ニ日朝ヌカニ海

峽ニ遠レ得可キリ近來彼ノ遣リ方中々確断ナラズト

思ハル急航セラルノ必要キヤ司令官ノ決意見同ハ

シタシ

午後五時五十分

本艦ヨリ常盤若ニ右返事

午後六時

二日間合スニ石炭補丸困難思フ其点就停考アズ此知テ
空電盛ニ本艦凌信機ニハ解カレハ早ク本艦ヲ呼ビ
タルコトキヤ(出雲ヨリ)本艦ニテモ空電盛ニ分明ナク返事

午後七時十六分

先刻信号中想定一例ヲ舉ケタル過テ敵浦塩着上
直ニ南下スル計ヲ難ク亦旅順方面情况モ今明セザルカ如シ
此際万々遺算ナキヲ期スル成ル可ク急航セラルルハ宜シカラント
ノ意味アリ

午後七時十六分

司令官ヲ長官ハ
常盤艦長ノ意見ハ参考マデテ申ス三十日午後敵津軽海
峽ヲ通過セルモトスレバ去三十八日午前二時敵我艦隊ヲ發見
セシヨリ北走セシヤモ同ノ難レ果シテ然ラズ該海峡通過ノ後針路ヲ

午後七時三十分

南西轉じ對馬海峡ノ虛ヲ襲フモ強ク可能トシテ又僅モ
二朝エテ海峡ニ達シ得可キヲ右一例ニモ旅順方面ノ情
況ニ分明ナル故可成急航サレテハ如何
唯今ノ早ヨリノ電信中ニ括弧内ノ字ハ六個ニテムノヨクタラ
ト讀メトモ暗号ノ意味明カラズ明瞭ニ分リシ艦ヲ知ラセシメ出雲

午後八時三十分

常盤君妻ハ今ヨリ常盤艦長指揮元右炭ノ許ス限佐世保ニ
急航シ直炭水補充ス可シ出雲艦手右炭都合アリ十海里ニテ
航ス(出雲)

午後九時十五分

司令官漸意見尤モナレ石炭都合上急航ヲ許止ムナリ常盤君妻
妻ヲ先航セシム載炭セシム(出雲)艦手明朝模様依り出未得ル
限速カラ増加ノ予定(出雲)

〔電文〕

午後八時四十分

七雲ヨリ牛草ノ

午後時五分

鶴見崎ニ至ラハ情報ヲ聞キ取リ報告セヨ

出雲ヨリ早ク

竹敷直航ハ瓜生司令官ノ指揮ヲ受ク可シ了解ヤ否不明

八月二日 航海 正午艦位

三十一度二十分
百十九度五十五分四十分

天候晴

風向北東
風力ニ乃至三

晴雨計 二九七九

寒暖計 八〇

午時都井崎沖ニ達ス午時三時驟雨来襲ス午時六時天候益々良好トナリ午後至リ

此出動以來天候ナリシガ夕頃ヨリ少シク濛氣ヲ生シテ本日は別特記ス可キ点ナシト云モ

連日長途ノ航海從事シ屢々高速カヲ東奔西走或ハ留艦ニ給炭等々為メ反

炭貫頼頼ルヌ石炭線ノ出シ困難ナラシムニ至リ本艦ニ於テハ七月廿七日以來各砲員

中一、二、三番配置止ルモ及ビ其他重要ノ配置ニモノヲ除キ兵部ヲ四直トシ毎直十

六人宛ツ出シ炭庫内石炭線出シニ從事セシム時正酷暑際此事業砲火ノ効力更

サノ影響ヲ来スルコトヲ恐ルリト云モ航海日数ノ増加スルト共ニ急速ノ高速力運

動ヲ執ラガ為メ執止ム能ハザリシナリ今尤此ノ出動當初ヨリ佐世保歸着ヲ問ハ

ケル各艦ノ石炭現量比較ヲ示ス (正午ニ於ケル石炭現量)

艦名	月日	第一日	第二日	第三日	第四日	第五日	第六日	第七日	第八日	第九日
出雲	七月五日	一三八三	一九七〇	一九六	九一七	八〇八	七〇〇	五七〇	四七〇	三六六
吾妻	七月五日	一三五〇	一一二五	一〇三三	九三一	八六五	七九三	七二四	六五三	正午以降不明
常磐	七月五日	一一二一	一一四〇	一一〇二	九九一	八五六	七八七	七一一	六五一	夕
磐手	七月五日	一一三五	一一五〇	九八〇	八六〇	七六八	六八〇	五八五	五〇〇	四一七

〔艦内事業〕

雑業 善行章行狀昇級申渡

〔信号〕

午前三時五分	針路南西(出雲)
午前六時七分	針路西 (出雲)
午前七時五分	針路北西(出雲)
午後一時二分	針路北西(出雲)

午後五時十八分

今夜港外、假泊明朝五時抜錨入港ス今夜九舷錨ニ碇泊明

午後九時三十分

日右舷錨鎖ニ繫糸留(出雲)

針路北々東(出雲)

午後十時四十分

國崎ノ西方、假泊ス深サニ五尋以内

〔電文〕

午前九時

出雲ヨリ常盤ノ

其ノ艦ハ今何ト有リヤ

午前九時

鷹嶋北東三理、有リ(右返事)

午前十時五十分

常盤ヨリ出雲ノ

何時頃入港セラル、ノ行豫定ナルヤ

明朝天明前、后トナリ(右返事)

午後一時三十分

常盤ヨリ平戸ノ

九ノ事ヲ佐世保鎮守府通ゼヨ常盤ハ石炭七〇噸、鑛水

午後十時五五分

出雲ヨリ平戸へ

二。噸飲用水五十噸五妻ハ石炭八百噸鑪用水百噸
飲用水三十噸午後六時入港後直ニ積込ミタル石炭ハ人足ニテ
積込ム許可ヲ得ナリ其ノ用意セラレタル常盤艦長

鎮守府元ノ件通知頼ハ十二時頃港外ニ假泊明朝五時抜錨
入港ス出雲ハ石炭千二百噸内カクモ袋積ニ六百噸鑪水
百五十噸艦手ハ石炭千百噸内カクモ袋積ニ五百噸鑪水
百噸飲用水百噸用意アリタル石炭積込ハ人足準備有リ度シ

八月三日 佐古保入港

天候快晴

風向北東

晴雨計

二九七六

集暖計

七八九

午前零時三十分佐古保港外ニ假泊ス

艦位

向後崎南五十六度東
白瀬南一度西

錨鎖六節
水深廿二尋半
底質泥

投錨后岸ニ濱艇ヲ卸シ直哨兵ヲ配シ敬言戒メ午前五時投錨右在保ニ港シ
岸七浮標繫留ス直ニ石炭搭載錐用水補丸ヲテ其他諸般需品積
載等ノ爲メ艦内頗ル般系忙ラ極メ是レヨリ先キ出雲並ニ本艦入港スルヤ
常盤吾妻千早ハ既入港載炭ヲ終レリ(千早ハ七月三十日旗信依豊
後水道向ル後更ニ行敷ニ直航ス可キ旨電命ヤリタルモ之レヲ了解スル能ハズテ
入港シタルモノナラン)午後五時三十分石炭搭載ヲ終リ艦内各部掃除ヲナシ
諸端舟ヲ收旗命依リ明朝出港ノ諸準備ヲ整フ

〔艦内事業〕

石炭搭載(千八十噸)

〔出入艦船〕

大成丸、玄海丸、鴻入港、讚城丸、大義丸、鴻立神丸、出港

在泊軍艦出雲、吾妻、常盤、艦手、千早

氣象警報

風雨稍激シキ虞アリ海陸ヲ警戒ス低氣壓ハ紀伊國ニアリテ中心北東進ミ
七百四十四耗ヲ示ス烈風ノ処アリ五六七八區ヲ警戒ス(午前四時五分)
茅二、三區ノ沿海又警戒ヲ解ク(午後零時三十分)

〔信号〕

午前六時三十分

敵情異リナシバ明日午可出港ノ豫定(出雲)

午前六時三十分

常盤千早ノ外洋霧消大至急点大準備セヨ(出雲)

午前七時三十分

明日午前七時出港ノ旨原速力十哩上理對ニ嵐カラ係(出雲)

〔電文〕

午前一時三十分

出雲ヨリ常盤千早ハ
最近ノ情報知セ

午前二時三十分

右反事(常盤ヨリ出雲)

鎮守府ヲ至テ聞キタル所ニ由リ去ル三十我ガ陸軍ハ様順口ノ背面ナル鮮生角
附近ヨリ鳳凰山ヲ至テ一ヨリ雙頭灣ニ達ス競ヲ台領シ我艦隊ハ嚴重

十九封鎖ヲシレ一字不明ニ配備ニ就キタルカ如シ浦塩艦隊備フニル
為メ宮岡大佐ハ高雄ヨリヤ高木穂武藏水雷艦隊ヲ率ニ津輕海峡所備
從事スル事トナリト水雷艦七隻山陰道現レル報根據甚薄ナカハ

八月四日 左五保投錨 即日尾崎投錨

天候快晴 風自北東 風力三乃至四 晴雨計 九八九 寒暖計 七八一

午前十時投錨尾崎向テ出雲吾妻常盤千早今航ス午後ヨリ北
東風稍強ヤリカ天候敢テ陰悪ヲ示ス至ス午後六時三分尾崎ニ港
第一浮標繫留ス入港后直水雷防禦網ヲ展張シ直哨兵ヲ既
シテ敬告ス本日乙隊機密岸五ニ二舞ヲ以テ對馬水道警備ニ関スル
命令ヲ受領ス (無脚圖共ニ参照)

艦内事業

被服洗濯ヲス

出入艦船 尾崎ニ於テ

佐渡國丸入港 春日丸 高千穂出港

〔信号〕

午前八時五十三分 針路西北北北北 (出雲)

午前十時三十分 針路北西 (出雲)

午前十時四十分 原速上渾 (出雲)

午後二時四十分 針路北東東 (出雲)

〔電文〕

午後一時十分 出雲より豆酸へ

浪速傳へ日本隊六時半頃着豫定

午後四時七分豆酸より出雲へ

四日着電奥大將報告昨日未敵北方退却ヲ続

行シ軍ハ三日正午頃海城及び牛莊ヲ占領セリ午後

二時五分海軍局發電タム

八月五日 尾崎碇泊

天候 晴

風向 北東
風力 一乃至二

晴雨計 二九九五

二九八九

曇暖計 七八

七

本日旗艦出雲於司令官長官談話會ヲ催シ各艦將校及ヒ相當官

ヲ招カル本艦ヲ教名出席ス本日ヨリ命依リ航海碇泊ヲ論セス正午右

炭現量並ニ患ヲ救ヲ報告スルトナリ薄暮水雷防禦網ヲ展張シ

四直哨兵ヲ配シ警戒ス本日乙隊機密五二二號ニ依リ四戰機密芽ニ

七號ヲ領布セラレ

一艦内事業

諸端舟洗方其他雜業夕頃水泳ヲ許ス

一出入艦艇

青竜丸 新高入港 千早對馬青竜丸出港

一信号

午前八時五分 爾今碇泊中ニ航海中劇依リ右炭現在高及ヒ患

者教ヲ報告ス可シ(出雲)

〔電文〕

是時哨區ニアル哨艦ヨリ敵ナレハ報告アルニ之ヲ畧ス

八月六日 尾崎碇泊

天候晴

風向不定
風力ナシ

晴雨計

二九九五

寒暖計

七八四

本日艦内大掃除ヲ行ヒ午後内筒砲射撃ヲナス午後乙隊機密簿
五二八號ノ命令ヲ授領ス夕水雷防禦網ヲ展張シ水泳ヲナス薄
暮ヨリ例日如ク四直哨兵ヲ配シテ警戒ス

〔艦内事業〕

艦内大掃除 内筒砲射撃其他雜業機関部員武科操練等

〔出入艦船〕

新高出港 對馬入港

〔信号〕

午後時三十分

軍医長會議ヲ吾妻ニ開カシム軍医長ハ直ニ吾妻ニ
行ケ(出雲)

〔電文〕

午後零時五十分

出雲ヨリ新高 十早一(哨尾ニアルモノ)

角嶋望楼ヨリ報告仙崎監視哨ヨリノ報九時ヨリ

砲聲ヲシキモノヲ聞ク本望楼ヨリ早モズ十早ニモ傳ヘヨ

午後五時五十分

浪速ヨリ新高へ(乙隊接密五二八號参照)

其艦ハ七日ヨリ九日マテ第二戦隊ト共ニ出勤スル

事トセリ依テ明朝午前八時三十分尾崎湾外

ニテ第二戦隊ト會シ第二艦隊司令長官ノ命ニ

因リ行動ス可シ

右ノ外定時哨尾ニアル哨艦ヨリ敵ヲシテ報アルモ之レヲ畧ス

八月七日 尾崎投錨 正午艦位

三十四度四十九分
百二十九度三十分三十分

天候快晴

風向南西
風力一乃至三

晴雨計

九九五
九八三

寒暖計

八〇七

起床后直ニ防禦網ヲ収メ隊機密第五三八號行動ヲ執ル為メ午前

八時三分後錨出港ス出岨云吾妻常盤艦艦手新高第十五艦

隊（艦名）窪路鷲頭（鷲頭）全航レ西水道向北上ス本日ヨリ酷暑

日課ヲ施行セラル午前十時新高列外出ヅ外邊湾方面ニ急航シ午

後一時三十分之レ北々西見失フ薄暮ヨリ四直哨兵ヲ配シテ

警戒ス夜入り半速カニ航行レ豆酸若ク大河内ヨリ無線電

信通信距離ヲ遊戈ス

艦内事業

雑業 身体検査

出入艦船

佐渡國丸浪速出港 千早入港

信號

午前九時八分

針路北に東 (出雲)

午前九時十分

新高の五番艦編入し當隊元側位置ヲ執ル (出雲)

午前九時二十分

自今酷暑日課ヲ施行セヨ (出雲)

午前十一時一分

針路北に東に東 (出雲)

午後二時三十分

針路北に東に東 (出雲)

午後五時三十分

第一集令点 三十四度五十分
百三十九度四十分 (三嶋燈臺に東北東約十五哩) (出雲)

(出雲)

午後五時三十五分

午後八時ヨリ天明マデ針路南に西半速力 (出雲)

午後七時十五分

毎夜艦内四直哨兵ヲ配備シテ警戒セヨ (出雲)

(電文)

午前八時

出雲ヨリ浪速ハ

昨夜韓崎ヲ更ナル佛蘭西ノ帆船トシテハ目的に航路ノ關係怪可哨艦ヲシテ委リ臨檢セシム可

午前八時三七分

(右返事) 佛蘭西ノ帆船何時頃何ノ方面ニ向ヒシヤ

出雲ヨリ浪速ハ

昨夕日没頃迄尾崎沖十湊アリ昨夜韓崎ヲ東
更レル由艇隊ヨリ報告アリ

午後一時五分

大河内ヨリ出雲長官ハ

汽船「ユニオン」ハ未石炭粉、家畜等ヲ積ミ八月十日

浦塩斯徳ニ向ケ膠州灣ヲ出港スルナラント云フ旨

乗組士官ニ名同船ニ浦塩ニ向ケト庫令部長

午後三時三十分

大河内ヨリ出雲參謀長ハ

公報要領五日午後四時頃ヨリ曙着朧ハ敵ヲ驅逐艦十

四隻ト旅順港外ニ會戦シ五時過ギ電ト合シ龍衣撃手

シタル為メ敵ノ港口ニ遁走シタルヲ以テ戰鬪ヲ止メタリ吾

損傷ナシ敵ノ損害不明竹敷參謀長

午後三時五十八分

出雲ヨリ新高へ

先航隊ハ見ザルヤ

未ダ見エズ(右返事)

午後六時

出雲ヨリ新高へ

竹又湾ト通信出来ザルヤ

午後六時三十分

新高ヨリ出雲へ

迎日湾内ニテ先発隊ニ會ス午後六時出発

午後七時三十分

出雲ヨリ新高へ

明朝何時頃竹又湾ニ着ノ予定ナルヤ

午前五時着ノ予定(右返事)

右ノ外定時哨尾ニテ哨艦ヨリ敵ナシハ報アルモ之ヲ疑フ

八月八日

航海 正午艦位

三十五度三十五分
百三十度十分

天候 快晴

風向 南西
風力 五至三

晴 雨計 九八八

寒 暖計 八六

終日蔚山沖ヨリ竹芝灣沖ヲ警戒巡邏ス午前八時旗信依リ艦隊漂泊シテ艦隊ニ石炭ヲ補充ス本艦ハ水雷艇ヲ横附セズ(艦隊ハ六隻ナリシヲ以テ出雲、吾妻、岸壁ニ二隻宛横附セリ)午前九時十分前進ヲ起ス薄暮ヨリ四直哨兵ヲ配シ警戒スルヲ例日ノ如シ

〔艦内事業〕

砲員照準稽古砲員外砲臺操練其他雜業

〔信号〕

午前五時五分 左十六点ニ正面ヲ変換ス(出雲)
 午前七時五十分 午前八時漂泊シ水雷艇ニ石炭ヲ補充セヨ(出雲)
 午前九時十分 針路北ニ西(出雲)
 午後〇時九分 針路南西(出雲)
 午後四時 針路北ニ東(出雲)
 午後五時三分 第一集合点 北緯三十四度五十分 東経百三十九度四十分(出雲)

午後五時三十分 午後七時三十分より針路南に西に西半速力(出雲)
午後十時五十分 明朝五時十六分、正午変換原速力

〔電文〕

午後六時四十分

大河内ヨリ出雲司令長官へ

尤通り聯隊長官に電報セリ旅順口ニテ海軍々

人技師將校ノ脱出シテバルタク艦隊ニ加ハリストスルヲ

防カスノ脱出者ノ嚴重ニ取調ヘ男子成ル可ク抑留

スル方針ヲ取ラシコトヲ希望ス

午後八時三十分

出雲ヨリ新高へ

三九。地点より南に西に西半速力明天明后及航十時

頃此地点ニ在ル豫定

八月九日

航海正午艦位

三十五度三十分
百二十九度五十分

天候晴

風向南西
風力二乃至三

晴雨計二九八〇

寒暖計八三

毎

八日午後十時頃出雲複水器故障ヲ生シ一時列外ニ出テ吾妻先頭艦ヲシカ午前一時出雲列ニ復ス本日モ終日對州東方ヲ巡邏遊戈ス午後二時出勤以來本隊ト同航シタル艦隊ハ命ニ依リ尾崎ニ向セ列ラ出テ南西ニ航ス薄暮ヨリ四直哨兵ヲ配シ警戒ス

〔艦内事業〕

被服洗濯 陸戰隊員銃隊操練員傷者運搬
砲員照準 鑑査汰砲員外大砲操練 其他雜業

〔信號〕

午前五時十分 右十六点ニ正面ヲ変シ原速力(出雲)
 午前八時五分 針路北ヲ東 (出雲)
 午前八時五十六分 午前九時ヨリ微速力ニ進ム (出雲)
 午後零時四十五分 新高ヨリ電佐渡國丸各艦隊ハ午前七時外江灣ヲ出發セリ(本艦ヨリ鶴)

午後二時三十七分

艇隊ハ任務ヲ終リ新高ト全航佐渡國丸ヲ護衛シ
歸途就キツマリ本隊ハ四時ヨリ南下シ明日天明沖ノ

嶋附近ニ至リ東水道ヲ通過シ尾崎ノ段港ニ至ル(出雲)

午後三時五十七分

尤十六点正面変換(出雲)

午後五時三十分

第一集合点沖ノ島(出雲)

〔電文〕

午前六時五十分

新高ヨリ出雲ハ

鬱陵嶋ニ於ケル任務終リ午後七時作又濟向ニ出

發セリ本艦ハ今A四一〇地点ヨリ艇隊ニ合スル様詔

岸ヲ北上ス

午後〇時四十分

新高ヨリ出雲ハ

本艦正午位置置百二十九度三十五分三十六度三十七分

針路北七度西速カ八哩半、艇隊ヲ見テ前方ニ見ル

午後一時四十分

新高ヨリ出雲ハ

午後一時三十分三五〇地点ニ於テ艦隊及ビ佐渡國丸ニ
會シ針路南ヲ東速カ八哩半ヲ帰途ニ就ク

午後二時四十六分

出雲ヨリ新高ハ

本隊ニ午後四時三九一地点ヨリ半速ニテ南下シ明日天

午後三時二十五分

明沖嶋附近達シ東水道ヲ至テ尾崎ニ碇港ス其ノ
艦ハ艦隊佐渡國丸トハ航尾崎ニ直航ス可シ
出雲參謀長ヨリ大河内ヲ至テ竹敷參謀長ハ

佐渡國丸ハ豫定ノ用務ヲ終リ新高及ビ艦隊ヲ護

衛シ碇リマアリ明日午後尾崎着ノ豫定本隊ハ明

早朝沖嶋ニ達シ夫ヨリ東水道ヲ通過シ尾崎ニ

碇港ニ予定、第二艦隊參謀長

午後七時三分

大河内ヨリ出雲參謀長ハ

一門ノ十二速射砲ニテ七日八日旅順口市街ノ砲

撃ヲ開始セリ兩日共市街ニ大火災ヲ起リ効果極メテ

良シ右ハ攻城砲備附テ掩護射撃ナリ大連西參謀

八月十日 尾崎 皎 授 正午艦位 三十四度四分五十九秒

天候晴 風向南々西 風力二乃至一 晴雨計 三〇・一〇 寒暖計 三九・二〇

午前八時ヨリ旗信ニ依リ自差測定ヲス午前九時測定ヲリ再ビ列ニ

南西ノ西ニ西ニ定針シ載炭諸準備ヲシ午後三時三十分尾崎入港シ

第一浮標ニ對シ留ス午後五時佐渡國丸ヲ横附ケシ撤哨載炭ヲス本

日午前十時旅順口ニテ敵艦隊脱出ノ報ヲ接シテ入港艦員モ十二連

ニ對スル瀛カヲ保有シ湾口ニ各艦ヨリノ裝砲瀛艇若クハ艦載水雷

艇ヲ出し警戒戒ヲ嚴密ニス

〔艦内事業〕

午前雜業 夕頃ヨリ石炭搭載

〔信号〕

午前五時十分 原速力(出雲)

午前五時三十分 針路西南西(出雲)

午前五時四十分 九時頃より自差測定ヲサレム用意ニ置ケ(出雲)

午前九時十五分 針路南西々西(出雲)

午前十一時五十分 午前十一時より原速十二哩(出雲)

午後〇時三十分 針路西太北(出雲)

午後一時十七分 針路北々東(出雲)

午後六時十五分 今夜ハ蒸氣又ハ艦載水雷艇ヲ武装シ湾口ノ警戒ニ

出ス可シ先任ノ端舟指揮ハ之ヲ指揮スルモノトス(出雲)

午後六時三十分 各艦十二節ノ速カラ保チ四鐘ノ時以ハ全カラ出シ

得ル様埋火ニ置キ其他ハ至急点火用意ヲナシ置ク

可シ(出雲)

電文

午後二時三十分

豆酸ヨリ出雲司令長官へ

敵日前ヨリ敵水雷艇四隻軍艦一隻城津赤ツトノ

風説專ラリシハ八日午後五時頃永興湾ノ漁夫其

冲合ニ水雷艇四隻汽船一隻運動スルヲ見タリト云元

山津望楼視界内ニ之ヲ見止メザリト云フ軍令

部次長

午後六時十分

出雲ヨリ総艦隊へ

敵戦闘艦六バルラガガアチ、アスコルド、ヒツク、

フトツクス、形ニ隻砲艦ニ、駆逐艦十五隻病院

船一掃海艇六今朝早時半頃老鉄山ヲ越エ

南下シツトノ情報接セリ哨艦ハ右岸ヲ満載シ

航海準備ヲ整備奇哨艦ヲ待敵ナル監視ヲシ

交代ノ為メ入港スル時ハ直ニ炭水ヲ満載スルヲ要ス
午後六時辛三分ニ出雲ヨリ第四戦隊へ更ニ午後九時四十分高千穂
千早ハ宛打電セルモ之レヲ畧ス

八月十一日

尾崎投錨

正午艦位

三十四度三十分

天候晴

風向西南西

晴雨計

三〇・二七

寒暖計八・五

前夜未載炭セシガ依渡國丸載炭全クタルヲ以テ午前十時約

四百三十噸ヲ搭載シテ之レヲ中止シ横附ヲ离レ更ニ天明ニ至リ午前十

五時三十五分再ビ立神丸ヲ九舷ニ横附ケレ石炭ノ搭載並ビニ鐘

水補充ヲナシ午前九時十五分横附ケテ離レ旗信依リ直ニ汽艇

艦載水雷艇ヲ艦内ニ取入ル是レヨリ先キ艦載水雷艇ハ天明時所

ヨリ帰艦スルヤ竹敷ニ派遣セシガ命ニ依リ直ニ呼戻ス旅順方面ニ於

敵艦隊脱出以來其主力ノ外ハ四散シタルガ如キヲ以テ之レヲ追窮

若クハ追撃スルガ為メ同方面ニ於ケル我勢カヲ一層優大ニシタル

聯合艦隊長官ハ是ニ第ニ戰隊ヲ呼召セラルニ至リレカ第ニ艦隊ハ
久シク脾肉ノ嘆ニ堪ヘザリシ士卒志氣大ニ騰ル午前九時拔錨出
港ス第ニ戰隊(出雲、吾妻、常磐、磐手)ノ早ム航ス拔錨后
合戰準備ヲテ航路ヲ濟州嶋ノ北ニ取テ原速十二哩午後七時十
早列ヲ離シ右舷側ニ見ユル汽船臨檢ニ赴ク午後三時五分旗信ニ
依リ本艦並ビニ常磐ハ三須司令官指揮下ニ本隊ニ別レ濟
州嶋ノ南方ヲ至テ天明ヲ期シ本隊ニ合スル如ク索敵行動ヲ取ル
コトナリ原速十五哩ニ直哨兵ヲ配シテ警戒航行ス(航路圖見事)

一艦内事業

載炭、出港諸準備合戰準備

一信号

午前九時 水雷艇小蒸氣ヲ揚々(出雲)
午前九時 出港準備セヨ (出雲)

午前九時三十分 午前十時三十分 出港ノ笠原速上理 総鐘ニ点

火セヨ(出雲)

午前十時三十分 針路西ノ南ノ南(出雲)

午後〇時三十分 艦載水雷艇八隻 巨角色ニ塗換ス(出雲)

午後〇時三十分 聯合長官ヨリ九ノ命令ヲ受ケテ之ニ會スル者ノ向方ニ

行ク本隊ニ激戦ヤリ九ノ地点ニテ日暮シタリ敵ハ

山東高角北附近ニ止マリ我カ駆逐隊襲撃セリ

艦隊ハ四七五地点ニ向ケ明日引返ス第一戦隊直ニ

来シ亦其後ノ情報ニ依ルバ今朝四時ノルソク

沖ニハビツク碇泊スルヲ認め六時「ボビエイダ」形ノ

旅順ニ向ヒ来ルヲ見ル芝罘領事ノ報告ニ依レバ

駆逐艦「ロシテリヌイ」昨夜當港入レリト云フ出雲

午後五時三十分 第一集合点 黒山嶋(出雲)

午後五時三十分今夜四直哨兵ヲ配シテ警戒セヨ(出雲)

午後五時五十分針路西(出雲)

午後七時三十分「アスコルド」ノヴキツク南下ノ疑ヒアリ貴官ハ速カラ

増シ艦手常盤ヲ率ヒ濟州嶋ノ南ヲ通過シ

明朝黒山嶋ノ西方ニ本隊ニ合ス可シ本隊ハ十三

節ニ濟州嶋北ニ航路ヲ取ル(出雲)

午後七時三十分針路南ノ西ニ西漸次速カラ十五哩増カス(艦手)

午後九時五十分豫定航路ニ時ヨリ南八十度西午前一時ヨリ北四十二

度西ニ變針地点「Y」ニ三ニ向フ土時ヨリ二直哨

兵今夜敵ニ會セバ戦闘速カ十七哩(艦手)

〔電文〕

午前九時四十分出雲ヨリ對馬

本日沖繩丸沖嶋電信線陸揚ス其艦ハ之ヲ監視シ

且ツ之ヲ掩護ス可シ

午前九時十三分出雲ヨリ午早三午早ハ哨馬ニアリ

直ニ尾崎ニ歸シ

午前九時三十分出雲ヨリ浪速ヘ

第ニ戰隊ハ命依リ聯合艦隊ニ合スル為メ出港ス貴官ハ
此ノ地ニヨリ警戒ス可シ敵艦隊ノ巡洋艦ハ海峡ヲ通
過シ浦塩ニ向フモナルモ計ラズ注意ヲ要ス

午後一時八分 出雲ヨリ豆酸

竹敷參謀長ハ尤通リ電報セヨハ浦無線電
信所死尤ノ電報打タシタシ出雲今夕八時頃ヨリ
無線電信通信巨離ニ達ス

午後四時五分 豆酸ヨリ出雲ヘ

青窪泥細谷司令官ヨリ尤ノ電報アリ吉幸奇七時

龍王塘望楼ヨリ報告依ハ旗艦レトザシハ六時四十分旅順口ニ達シタリボビエト報告セシハバルラダニシテ當望楼沖漂泊ス其他敵病院船一隻旅順口方面航シソニアリト云フ又午前七時二十五分橋立ヨリ無線電信依ハ今朝敵ノ戦鬪艦三隻又遇岩附近ヨリ旅順向ヒソアリ吾レ今之ト接踵ヲ保チソアリト又午前六時三十七分小平嶋望楼ヨリ報告依ハ小平嶋ノ南西ニセバスヨリ型一隻見エト云フ

午後時分明石ヨリ八浦へ

竹敷ニ地点四七〇ヲ南下シ浦塩向フ敵艦速カ十六乃至十七哩亦第六戦隊之レヲ追尾中ノビツクハ之レヨリ遙カニ西下セリ敵艦隊ハ今日午前八時地点五三〇(山東高角)東約七十哩ニアリ我が本隊之レヲ追撃中ハヤリシ

(アスコルド?)「ハビツク」ハ明曉對馬海峡ヲ通過スルヤモ知シズ

此電至急

右ノ外出煙ヨリ明石ハ午後十時打電シタル如キモ此附近ハ所謂朝鮮南西岸叢嶋ミシテ嶋峙ノ出沒スルモノ極メテ多ク為メ通信ヲ妨クルコト屢カシテ通信ノ半ハ極メテ明瞭ナルモ俄然中絶シ亦突然現出シ為メニ殆ド解読スルノ能ハザルニ至ルモノ多シ

八月拾貳日航海 正午艦位

三十三度五十三分十五秒
百三十五度八分四十五秒

天候快晴

風向北微

晴雨計

三九六

寒暖計

七九

前夜未索敵行動ヲ取リテ、黒山嶋附近至リ北西ニ當リ明石和泉

秋津洲ノ諸艦ノ南東ニ向テ會シテ出雲吾妻ト合シ漂泊明石

並ビ秋津洲ヨリ敵艦スル情報ヲ得同時ハ浦ヨリ聯合艦隊長官

ヨリノ電命ヲ受ケ午前十時三十分ヲ以テ再ビ第二戰隊及ビ早東航

シテ對馬水道警備ノ任ヲ就キトナリ午後六時華嶋ノ東方ニ至リ救

條煤煙ヲ認或ハ脱出シタル敵ノ部浦塩ニ向フモノニアラサルヤラ疑ハシ
メタリ午早ハ命ニ依リ列ヲ解キ之ヲ追蹊レ且ツ暫ク之ヲ追跡スルヤ報
ズルニ敵ノ駆逐艦ノ如キヲ以テセシガ其後亦報シテ其悉ク我陸軍運送船
ナルヲ以テ列ニ復回ス是レヨリ本隊ハ針路ヲ對馬西水道ニ執リニ直哨兵ヲ
配シテ嚴密ナル警戒ヲ夫薄暮ヨリ少シク濃霧ヲ生ジタルモ天候ハ極ク佳良ナリキ

一艦内事業

ナシ

一信號

午前七時五分 針路北西北 (磐手)

午前八時五分 針路西 (磐手)

午前八時三十分 敵情昨朝敵ノ主戦艦隊ハバーヤンヲ除キ自脱出ス我

艦隊追撃激戦日没ニ至リ今朝午前八時敵ハ地点五三

附近ニアリモ如シ我艦隊之ヲ追撃セリ (秋津洲)

午前八時五拾五分原速十三哩(艦手)

午前九時十分九時二十分ヨリ半速針路東南東(艦手)

午前十時十五分昨夕命ヲ受ケテヨリ速カ十五哩ニテA九地点ヲ至テ

當地ニ来レリ右復命ス異情ナレ(艦手ヨリ出雲)

午前十時十八分原速十五哩(出雲)

午前十時五分戦況及ビ敵状ノ概畧ヲ知ラセタシ(本艦ヨリ明石)

右返事「我が艦隊全カヲ以テ封鎖中」十日午前八時頃

「バヤン」ヲ除キ敵ノ主力艦隊皆脱出我が艦隊直ニ追

撃敵速カ意外ニ早ク午後七時頃山東高角北

東ニ於テ激戦ノ后日没ニ至レリ此時本隊ハ「カスコルド」

「ヒラリ」ノ脱出南下スルヲ追尾セシガ敵ノ速カ及バズ

遂ニ午前十時敵ヲ見失ヒヨリ貴隊ニ通信ノ為ニ来レリ

敵ノ主力ハ午前無線通信ノ通リ昨朝旅順ニ遁入シ色

モノ、如シ目下行衛不明ノモノハ「アスコルド」「バルラダ」「ノビツク」
駆逐艦七隻皆浦塩ニ向ヒタルモノ、如シ

午前十時五分 聯隊長官ヨリ九ノ命「ヤリタリ」
既途ニ就ク、第三戰隊海

峽ニ既リ監視ヲ嚴ニセヨ「アスコルド」「ノビツク」「バルラダ」ト駆逐艦

救便ハ南下シタル如シ七時頃追速カ十五哩(出雲)

午后二時五分 明朝マテ此ノ速カニテ航行ノ豫定(出雲)

午后三時五分 針路東ニ南知南(出雲)

午后四時十分 針路東(出雲)

午後五時十分 茅壹集合点 三十四度五分
百二十九度三分 今夜ニ直哨兵ヲ配シテ警戒セヨ(出雲)

午後五時五分 豫定航路午後八時三十分北東ニ東ニ東ニ東ニ東(出雲)

〔電文〕

午前七時三十分 出雲ヨリ千早ハ

五時十五分ヨリ本隊ハ微速ニテ千早ハ八浦ニ近ブ電報ヲ受ク可シ

午前六時二分 明石ヨリ出雲へ

吾し貴隊ニ會合ノ予定位置知ラサレテ返事。吾し黒山
嶋ノ西ニアリ

午前六時三十分 早ヨリ出雲へ

電報多キカ又ハ其他故障ノ為九時迄本隊ニ合スル能ハザル
起リし時ハ何レニ向ヒ行ク可キヤ

午前七時五十分 浦ヨリ出雲へ

敵ノ戦闘艦五、巡洋艦一、今上日未明ヨリ旅順口港内ニ
遁入シツ、アリ「アスコルド」ハヒツクハ昨夜突進南下セシ後所
在不明ナリ

午前八時十分 明石ヨリ出雲へ

第二艦隊司令長官ニ宛テ九ノ電報アリタリ。第二艦隊海峽ニ
皎リ監視ヲ嚴ニセヨ「アスコルド」ト「ヒツク」ハ驅逐艦ハ數隻ハ南下

レタルが如シ

午前九時十九分出雲ヨリ八口浦へ

佐古保長官ニ尤ノ電打テ石炭運送船至急尾崎ニ送ラ
タレトモ敷浪速ニ尤ノ電打テ命ニ依リ十二日午前九時尾崎
向ケ回航ス葎貳艦隊司令長官

午前十時 出雲ヨリ八口浦へ

竹敷浪速瓜生司令官尤ノ電打テ本隊ハ命ニ依リ皎途
就クアスコロト十日午前十時四七。地点ニアリトノ報アリ今夜
對馬海峡通過ノ疑ヒアリ全カ警戒戒ス可シ本隊ハ今夜
西水道通過天明ヨリ沖嶋方面ニ行ク又佐古保長官尤
ノ電打テ石炭運送船至急尾崎ニ送ラタレ葎二艦
隊長官

午後一時三十分八浦ヨリ出雲長官へ

聯隊長官ヨリ出雲第ニ艦隊長官宛テ九ノ電報
アリ「アスコルド」ノヒック外巡洋艦一膠州湾ヲ出テ南下セト
ス至急海峡ニ既リ之レヲ扼セヨ

午後六時五分早ヨリ出雲ハ

煙五条見エ敵ノ駆逐艦ヲレク思フ

二隻又ク稍鮮明トナル敵ニ有テ五ノ運送船ヲレク

思フ(午後七時二十分)

前見エル敵船ハ皆吾ガ運送船ナリ(午後七時四十分)

午後七時十分

出雲ヨリ総艦ハ手旗信号ヲテ戦況ヲ示サル

吉田参謀ヨリ報告セル戦況尤ノ如シ敵脱出時第ニ戦

隊ハ西方ニ第六ハ中央第ニ戦隊(鎮遠ヲ欠ク)東方ニ

位置シ監視任ニ當リ敵ハ港外ニテ櫛ヲ不ヤツガレウキ

先頭トナリ口トヒヤサシベスウキト「ボルタフ」セルストボリ

アスコルド「バルラダ」ゲアナノ順ニテ病院船壹ヲ最尾ニ
 從ヘ「ビック」ハ右翼ニテ驅逐艦七艘其後ニ就キ追
 進シ未レリ内嶋附近ニアリタル第一戰隊ハ直ニ敵ノ先頭ヲ
 抑エル如ク急進シ未リ一万余突位ニテ砲撃ヲ始メタリ此
 戰鬪中我艦隊ハ速カラ利用シ再ニ敵ノ先頭ヲ抑フタル故
 日没頃山東角北ニテ敵艦隊其目的ヲ果シ難キヲ知
 暫時ウソクシタル後艦首ヲ反轉シ旅順方面ニ向ヒシモ此
 時隊形全ク乱レ大混乱ヲ引起ス此頃須磨ハ機関故障
 障アリテ遅レ居リシカ「アスコルド」ノビック之レニ向テ如ク見立敵
 第一戰隊ハ其掩護ニ進ミ約四千米突ノ距離ニテ砲火
 ラ友「アスコルド」ノ烟突一本大樁切断等ノ結果ヲ上ゲタリ又
 驅逐艦「日没」後攻撃ヲイタルモノ如ク敵艦隊ノ方盛ナル砲
 火ヲ見タルモ其結果明カニ夫レヨリ艦隊ハ第一戰隊ヲ中

夫芽六ハ右芽三ハ九ニテ南下レ夫明ヨリ反航セカ芽六ハ
 約五哩ノ距離ニアスコルドヲ発見セル故ニテ追撃セシモ敵
 十八哩ノ速カニテ遁走シタル為メ午前十時三十分四七の地点
 ニテ見失ヒタリ依テ同戦隊ハ捷路ヲ取ル目的ニテ濟州嶋向
 ハリ又芽一戦隊ハ午前十時頃五三の地点附近ニテ敵ヲ見春
 日之レヲ追ヒニ此隊ハ駆逐隊ニテ速カ及バス逐ニ引返セリト
 電報明石感シタリト云フ昨日ノ戦闘ハ遠戦ニテ主砲
 ヲ打テ合ヒタルノ味方ハ殆トド損害ナキ如ク敵ハ旗艦トシ
 番艦ニ相應ノ命中ヤリタルヲ見タリト云フ又敵ノ引返セル
 時ツザレ「セバスト」ニ曳ハ甚シク遅シタルヲ見タルコトアリ
 午後九時中九分出雲ヨリ高千穂ハ
 五九時自嶋ノ東南東十三哩針路北東多東十五節ニ
 テ航ス其艦位置如何其方圖異状ナキヤ

八月十三日

航海

正午艦位

三十四度四十分
百三十一度八分

天候 快晴

風向 南東

晴雨 計

九九八
九九一
寒暖 計 八六

前日未引続々索敵並に警戒飛行航

對馬東部ヲ巡視

ス旗命ニ依リ小田切總領事ヨリノ敗敵ノ情況ニ関スル電文ヲ兵

員一同ハ讀聞ス薄暮ヨリニ直哨兵ヲ配シテ警戒ヲ嚴密ニナス

ナシ

〔艦内事業〕

〔信號〕

午前五時三十分 原速十浬 (出雲)

午前五時四十分 針路南ヨ東ヲ東ニ東 (出雲)

午前六時三十分 針路南東 (出雲)

午前九時十六分 針路南西 (出雲)

午前九時十九分 原速十三浬 (出雲)

午前十時 原速十湮 (出雲)

午前十時三六分 浪速ヨリ出雲ノ電報尤ノ通り

十時三十分 神崎ヲ至テ三六一地点ニ向テ速カ十二湮 (本艦之レヲ受テ出雲ニ復報ス)

午後四時四十五分 針路南西ニ西ニ西 (出雲)

午後三時十分 今来リシツバシ士官ノ戦況ノ話給員ニ話ス可シ

午後三時四十八分 半速力 (出雲)

午後四時七分 針路北ニ東ニ東 (出雲)

午後四時三十分 台ヲ及ビ敵ノ駆逐艦士更上日天明膠州湾ヲ奔シ

所獲不明ナリレノ情報ニ依リ定メタル配置尤ノ如シ 第二

戦隊ハ十四日天明前ヨリ三八八及ビ三六七地点附近ニ

アリテ西水道ヲ監視シ天明后ヨリ西水道ヲ南下ス 第四

戦隊及ビ午早ハ其東方ヨリ角嶋ニ至ル線ヲ警戒シ

又其一艦ハ二二地点ニ奇進シ警戒ス同艦隊ハ天明
后「A」「B」哨艦ヲ残シ神崎ノ南方ニ於テ本隊ニ合ス
艦隊ハ
西水道ヲ警戒シ明天明后一等艦隊ハ本隊ニ合ス

午后五時五分 第壹集令点 三十五度二十分 (出雲)

午後五時五分 今夜二直哨兵ヲ配シ警戒セヨ (出雲)

午後五時三十分 午奇一時三十分針路南西ヲ南 (出雲)

一電文

午奇四時三十分 浪速ヨリ出雲ハ

吾レ二六七地点ト二六四地点ト間ヲ往復ス午奇二時二

六四地点ヨリ更ニ北ニ向テ速カク當方向異状ナシ

午奇八時五十分 大河内ヨリ出雲長官ハ

聯合艦隊長官ヨリ九命令其隊膠州灣ニ有

敵巡洋艦ヲ海峡ニ要撃スルニカルト今時浦塩

艦隊ノ南下ニ注意ス可シ

午前八時五十分大河内ヨリ出雲へ

第三戦隊ノ一部ハ膠州湾ノ敵對シ本日午後出
発ス旅順ノ敵ハ顧慮スルニ及バス十二日午後十時長
嶋発電

午後九時三十分大河内ヨリ出雲へ

最近情報ハビツクシ及ビ駆逐艦十隻ハ五日未明
膠州湾出發行先不明アスコルド及ビツレサウチチ
ハ膠州湾在泊シ水雷艇(ツザレウチチ)ハ職エラ傭
役ニ修理中

午前十時九分出雲ヨリ浪速へ

貴艦ハ第四戦隊ヲ率ヒ三六ニ地点ニ未リ本隊ニ
合ス可シ

午前十時五分浪速ヨリ出雲へ

十時半神崎發三六一地点向ヲ速カ十二哩

午前十時三分出雲ヨリ浪速へ

其隊ノ一艦ヲニニ地点ニ出シ午後八時追敵ヲ監視シ明

日天明後神崎ヲ通過シ沖嶋附近ニ於テ其隊ニ合セしヨリ

午後四時五分大河内ヨリ出雲へ

十二日午後八時山田切總領事ト報告独逸新聞ノ膠州

ヨリ接シ電報八月十一日午後五時半露國水雷艦青

嶋(ク)ニ入り問モナクハビラクモ入港セリ全艦ハ浦屋行命

令ヲ持テ居ル由ツサレウキチレノ士官ノ語ニ由ル艦隊ハ浦

塩斯德ニ行ク命令依リ十日午前十時旅順ヲ出テ

タルニバーヤンハ布設水雷ヲ破損シ港内ニ入り他ノ諸艦ハ

午前十時頃旅順ヨリ平海里沖ニテ日本艦隊ト激戦シ

山東方面に道レタリ午後四時半頃山東角附近に日本艦隊約二時間交戦シ五時半頃日本砲彈旗艦司令塔ニ命中シ司令長官ヲウツトゲト及ビ參謀戦死シ司令長官ハ足ミラ殘シ身体全部ヲ失フ士官多ク死傷シ航海長全艦ヲ指揮セリマモヅチ少將及ビ艦長モ負傷シ漸ク青嶋ニ入りムラシテ其他ノ事ハ知ズ全艦ノ死者十三名負傷者四十名今朝「マモヅチ」ハ負傷者八名ト共ニ青嶋病院ニ入りタリ艦隊ノ損害ハ烟突皆破壊シ司令塔モ全ク破損シ水線上ニ大ク破損アリ修理ノ上出港シ得ルヤ否ヤヲ保シ難シ午前十時十分發
 午後三時十分出雲ヨリ大河内へ
 竹敷要港部參謀長尤ノ電打テ
 艦隊司令尤ノ命令傳方依頼ス

ハビラク^レ及ビ駆逐艦十隻ハ十二日天明膠州湾ヲ發シ
 タリ今夜海峡ヲ通過セドスル^ル勢至多ク又浦塩艦隊モ
 南下スルモ團リ難シ^シ第^ニ九^ノ第^ニ十七^ノ第^ニ十九^ノ艦隊ハ哨
 線^ハ第^ニ十五^ノ第^ニ十八^ノ艦隊ハ哨線ヲ警戒シ敵ヲ
 見バ極力攻撃シ午^ノ前^ニ三時^迄敵ヲ見ザバ一等艦ヲ急
 航^シ三六七^ノ地点ニル^ル本隊未^シ本隊及ビ第^ニ四^ノ戰隊ハ
 蔚^ノ山^ノ府^及ビ角^ノ嶋^ノ線ヲ警戒ス^ル艦隊ハ天明^ノ前^ニ艦
 隊ノ警戒線ニ近ク可^クズ^ル第^ニ四^ノ戰隊ハ一艦監視^ス爲^ス
 今夜水道ノ南西ニアリ
 要港部司令官^ハ今夜ヨリ差支^ナシ^バ當分^ニ神^崎燈^台
 大^正灣ノ探海燈ヲ消^スサ^シ沖^繩丸^ノ立^事ハ止^メタ^シ
 大河内ヨリ出雲長官^ハ
 聯合艦隊長官ヨリ報告^ニ依^リバ我艦隊大ナル損

午後二時五十分

害ヲ多ク今後戦鬪ニ差障ナシ我死傷士官以下百七
十名敵戦鬪艦五隻「ガアナ」形一隻駆逐艦十五隻ハ
旅順ニ敵レリ

午後三時五分

大河内ヨリ出雲ハ

澤山ノ電報了受信注意セヨ午時四十五分海軍
局發電

小田切上海領事ヨリ電報依ハ「アスコルド」水先案内
ノ言ニ「二日」サドル嶋ノ沖ノ海軍軍艦戦鬪艦
一隻巡洋艦二隻破泊レ居リ支「アスコルド」ハ烟突ヲ失ヒ
水線下ニ「」此間電文不明「」ト又全艦ハ十三日午後二
時船渠ニ入り武装ヲ解ク可ク「アスコルド」ハ十三日内出
港ス可シト云フ

午後五時五分出雲ヨリ大河内ハ

大本營ニ屯ノ軍機電打テ「ノビラ」十二日天明
膠州灣出港ノ報アリ又小田切領事報告内ニ十二日
午後八時入港ノコトアリ何レガ正シヤ
午後七時五分大河内ヨリ出港云々(軍令部次長ヨリ)

八月十一日膠州灣ニ入リ「アスコルド」ハ八十時間滞泊
ノ後出港「ツザウ」チハ大破損ヲ蒙リ當分港内ニ
止マラントス「ブリ」ヲスイ「ハ」損害ヲ蒙リ三日間滞泊セトス
十二日入港「ノ」バス「ポ」シャー「スイ」及ビ「バス」トラ「スイ」ノ二隻ハ
被害ヲ被リ三日間滞泊ヲ望ミ「膠州灣」知事ハ伯
林ニ訓令ヲ仰ケリ

午後七時四十分大河内ヨリ出港長官工

魯國軍艦三隻「サドル」嶋沖ニアルノ上海電報信
用ニ難キモ「アスコルド」ハ吳淞ニアリ駆逐艦「カゴ」ボイ「ハ」

上海内港 ニルポト 稍確實ト認ムアリ

午後八時分大河内ヨリ出煙云

水野芝罘領事ヨリノ電報ニ依ルニ芝罘ニ碇泊
中ナリシ獨逸軍艦「ヒルストビスマルク」ハ急電ニ接シ
上陸中ノモノヲ捨テ置キ……以下信文不明

八月十五日 尾崎敬投 正午艦位

天候快晴 風向南ニ東 風力強ク至一 晴雨計 元九三 寒暖計 七八

前日未天候極メテ佳良ニシテ少シク濃氣アリニ直哨兵ヲ以テ警

戒ラ嚴密ニセントモ終夜異常ヲ認メズ天明頃豫定ノ地点達

レ午前五時哨兵ヲ撤シ總員ヲ起床セシメトセシニ本艦尾舷艦首

約三点ニ當リ夕途ニ濃氣ノ裡ニ三隻ノ艦影ヲ認メタリシカ

未ダ全ク明クズ此際ニ四圍ヲ鎖シテ其何艦タルヲ明識スル能ハ

ザリシカ少時望遠鏡ニ依リ之ヲ凝視スルニ四煙突三櫓ノモノ

二隻ヲ先頭ニ煙突三楯ノモノ一隻ニテ正之浦塩艦隊アルヲ識
 午前五時十分旗信依リ直ニ戰鬪部署就戰鬪旗ヲ揚
 當時我針路ハ南西ヲ南ニテ半速カナリキ敵ハ拂曉前ニ於テ我
 航路ノ前向ヲ横断シタルモノ如ク夜暗ハ遂之ヲ了知スル能
 ハザリキ今敵ハ正南ニ針路ヲ取リ天明ヲ以テ將ニ對馬海峡ニ出
 現セトス我隊之ヲ先見シテ之ニ當ラントスルヤ少時ニテ敵亦針
 路ヲ東方ニ取リ我ニ當ラントスルモノ如シ開戰以來浦塩艦隊ノ
 各地ニ出没シ巧ニ我銳ヲ避ケ陰ニ陽ニ我行動ヲ妨ゲ慘害
 フ運セシトモ今ヤ逃クルベカラザル時機ニ於テ我艦隊ニ遭遇シ
 タルハ天ナリ命ナリ我ハ士卒ノ意氣真ニ天ヲ衝クノ慨アリ既
 テ我艦隊ハ南東ニ轉針シテ其先頭ヲ壓シ出岨云先ツ砲火ヲ開
 キテ敵艦當ルルニ午前五時二十分本艦ハ尹砲ヲ發射ス此
 時距離約一万是レヨリ先キ敵艦隊ハ口ニ旗艦ニシテ

アドミラル、エモシ坐案ヲ先頭トシ、クモボイ、之ニ次、ガリネー、ク、ク、
 艇艦トシ、單縱陣ヲナス、既ニシテ、彼我針路、東トナリ、敵ヲ我ガ左
 舷艦首ニ視テ、我ガ砲火ヲ、ガリネー、ク、ク、ニ集中ス、午前六時
 至リ、敵ハ我猛射ニ堪ハザルモノ、如ク、遂ニ右十六点ノ齊回頭
 ヲ試ミ、タルモノ、如ク、ナリシガ、三艦速カ、整一ナラザリシガ、転回後、ロ、シヤ
 亦先頭トナリ、ク、ク、モボイ、之ニ次、ガリネー、ク、ク、ハ、獨リ、後ニ北西ニ進マ
 ントスルヲ以テ、我艦隊、又尤轉シテ、北西ニ進ミ、敵ヲ南西ニ保チ、漸
 次、之レヲ朝鮮東岸ニ、壓セントスルノ狀アリ、此間、ガリネー、ク、ク、トノ、距
 離、漸ク、接近シテ、約六千トナリ、我ガ砲彈、敵ノ艦隊、命中、炸
 發スル狀、指顧ノ間、明カニテ、火、突ツ起ス、ト、屢ナリ、我艦士、卒、飲
 聲、湧カ、如シ、既ニシテ、ガリネー、ク、ク、ノ、砲火、漸ク、衰、敵ノ、隊伍、亦、漸
 ク、乱レリ、チ、ク、ク、シ、独リ、北航ス、此時、當リ、我艦隊、敵ヲ、左、舷、后
 部ニ、視、常ニ、其先頭ヲ、壓シ、ワ、我全砲火ヲ、拳ゲテ、猛射、急

撃手ス遂ニコロシヤ。グロモボイハ我銃ヲ避ケカ為メ一時南轉シテ再ビ
 我ガ後尾ヲ衝カントスルカ如キヲ以テ我亦右轉シテ丁字戦法ニ由リテ再
 ビ敵ノ先頭ヲ壓撃ス午前七時敵ノ砲彈リテソノノ奈射シルモ
 ノ本艦右舷前部一番六尹砲郭ニ命中シ其炸裂甚激ニ
 シテ廓内ノ藥莖並ビニ彈丸ヲ誘致シ爆然其附近ヲ粉碎シ其
 上部甲板ニテアリタル三番十三所砲ハ其砲員ト共ニ全ク飛散シテ寸影
 ラ止メズ砲郭ノ甲板後半部海中ニ墜落シ其床板ヲ壓碎シテ
 中甲板九番六尹砲郭並ビニ彈藥通路ニ爆煙ヲ送り九番六尹
 砲員射手並ビニ當時此砲郭内ニテリシ海軍少尉美補生松村和
 久等悉ク死傷ス亦一番砲郭内ニテリシ第三砲臺ノ指揮ヲナシタル海
 軍大尉原口鶴次以下一番六尹砲員ハ爆声ト共ニ全ク飛散シテ
 形體ヲ止メズ加之其ノ餘勢ハ遠ク附近一帯ニ大ナル損害與ハ
 七十有余名ノ死傷者ヲ生リ又火災ヲ起セシモ暫時ニシテ消火セリ

前橋下桁ハ三折シテ僅ニ銅索及トフクニ依リテ下盤ニ支エリタリ
 如斯模害ヲ受ケレトモモ之ハ為テ毫モ戰鬪行爲ニ於テ支障
 スル所ナク志氣益々騰リ勇戰奮闘敵艦ノ砲撃力カハ此時ニ當リ
 「ロシヤ」ガロモボイノ二隻猛進シテ我ニ迫ラントスルモ如ク午前七時大
 分其一彈(破片ニ依リ八吋砲彈トラ知ル)ハ本艦左舷后部水線上約
 四呎ノ處ニ命中シカ隊長室ヲ貫通シテ経線俟室前ノ防水区壓
 ニ於テ炸裂シ附近一帯ヲ破碎セシモ幸ニ一人ノ負傷者有クニ生セザリキ
 会々我砲彈「ロシヤ」ノ前部甲板ニ命中炸裂シ爆煙瞬時艦
 影ヲ認ムルコト能ガラレタルニ至リ僅ニ濃煙ノ裡ニ楯頭ヲ認ムルニ過ヤス
 此ノ爆煙ハ忽チ大火災化シ彼逐ニ其為ス能ハザラ知ルヤ右舷ニテ
 我砲火ヲ避ク是レヲ先ニ北航セルリエーソウクハ我砲火ノ集注ヲ
 受ケ速カ頗ル減シ且航機ヲ損シタルモノカ其進退意ノ如クナラサルモノ
 アリ苦戦頗ルカハ敵ノ僚艦二隻ハリエーソウクヲ掩護セントスルモノノ

如ク常ニ我艦隊トリテリツクノ中間ニ行動シ我猛射ニ應ヒシガ
 我艦隊ニ再ヒ其先頭ヲ壓セシ頗ル躊躇シ我銃ヲ避ケシモ我
 艦隊ノ再ヒリテリツクニ逼ラトスルヤ敵ノ二艦ハ再ヒ其急ヲ救ハントシテ
 我側背ニ向ヒ進ミ来ル我亦砲火ヲシテモボイシニ兩注スルヤ其前部水線
 附近大火炎ヲ起シ中甲板全ク火焰ニ包圍セシタルカ如ク遂ニ北東ニ轉
 針ヨリ我艦隊ハ全砲火ヲ独リリテリツクニ集注ス此時リテリツクトノ
 距離約三千八百トリ我砲彈余中炸飛スル伏拾モ之シ色瀨
 射撃ノ如ク爆煙屢ハ艦影ヲ蔽フニ至リ火炎ヲ起スコト敵次ニシテ
 速カ著ク減ジ僅ニ敵門ノ小口至砲ヲ發射シタル止ルモノ、如シ時ニ一
 魚形水雷ノ本艦々尾約二百米突ノ処ヲ横過スルヲ見ル或ハリテ
 發射シタルモノナル可シ既ニ敵ノ僚艦ニ隻ハ三隻右轉シ我ニ
 向ヒ且ツリテリツク急ヲ救ハントスルカ如ク南西ニ向テ進マヤ我艦隊亦北
 東ニ轉シテ之ヲ邀フ本艦ハシテモボイニ砲火ヲ兩注ス是レヨリ先キ

第四戰隊ハ我交戦中ノ報ニ接シ未合シ午前八時四十分頃リユトリツクト
 砲火ヲ交ヘタルヲ以テ本隊ハ益々ロシヤ「カロモボイ」ノ邀撃ヲ力メタリシカ
 敵ノ二艦ハ遂ニ其ノ奮ス能ハザルヲ知ルヤ半バ挫折シタル「ロシヤ」ノ前橋敷
 流ノ信號ヲ楊ゲ「リユトリツク」ヲ捨テ北々西ニ向ヒ遁逃スルモノ如シ因テ我
 艦隊ハ「リユトリツク」ヲ茅四戰隊ニ委シ「ロシヤ」「カロモボイ」ノ二艦ヲ追
 撃スルト益々急ナリシモ砲火ハ稍々緩漫トナリ約一時間至リ敵ノ二艦ハ速カ
 漸次減少シ極々緩漫ナル砲火ヲ以テ我追撃ニ應ズルニ過ガザリキ此戰
 鬪中終始我艦隊ハ旭日ヲ背シ行動セシテ敵ノ曉天ヨリ常ニ
 日光ニ向シ砲撃ヲ行ハシ「照準」ニ困難ナリシモノト信ス午前十時旗信
 ニ依リ「リユトリツク」ニ向ヒカガメ針路及轉ビテ敵ノ二艦ハ極北道ス午
 前十時四十分無線電信ニ依リ「リユトリツク」ノ沈没スルヲ知リ十時其沈
 没位置附近ニ至リ漂泊ス茅四戰隊茅十九艦隊既ニ未合シ敵ノ
 溺者ヲ救護シ「リユトリツク」本艦亦命ニ依リ茅二「カッター」(海軍少尉松村

次指揮タリ) 芽三(カツター) (海軍中尉山田正興指揮タリ) 出シ
 溺者救助ニ從事セシム附近一帯海面悉ク木片其他船具ノ破片ノ
 浮流セルモノヲ以テ敵ハレ且ツ釣床用薄國ノ如キモノノ非常ニ浮流セ
 ルヲ見レ敵ハ朝未未ト是等ヲ收ルニ至ラズレテ戦鬪ニ役事セシモノ
 如シ其光景ハ轉無量感ニ堪ラザラレタリ准士官以下下士率二十
 六名ヲ收容シテ直ニ本艦ニ収ル内重傷者二名アリ直ニ之ヲ下甲板芽
 一(芽三尾) (林岡兵六(スルム)) 收容シ負傷者ハ應急治療ヲ施シ被
 服ヲ給興ス戦鬪記事(戦鬪詳報参照) 以後佐古保着鎮守府ニ
 引渡スマデ至ル詳細別紙備時始末報告ニアルヲ以テ之レヲ畧ス
 是ニ於テ艦隊ハ再ニ芽三戦隊ヲ先頭トシ芽四戦隊之ニ次ギ水雷艦隊ヲ
 右側ニ位置セシ尾崎ニ向フ時ニ午後一時三十分ナリ是レ先キ戦死者
 士官次室准士官室兵員病室内ニ收容シ負傷者ハ豫メテ
 戦鬪中治療所ト定メタル夜囊室後部水雷工業室ニ於テ救

急法ヲ施スト共ニ静養セシム午後二時總員ヲ后甲板ニ集メ團圓餐ヲ
 士率一同奮闘遂ニ敵ヲ破リ大勝利ヲ台ルニ至リタルコトニ就キ訓示
 スル所アリタリ且ツ名譽ノ戰死者對シテハ深ク哀悼ノ情ヲ表シ終ハテ
 一酒杯ヲ舉ゲ戰勝ヲ祝シ艦内各所整頓破損處ニ調査ヲ施行ス
 就中一番六尹砲郭附近ノ慘状尤モ甚シク到底艦員ノミラ以テ復
 旧如何トモスルコト能ハズ依テ僅ニ其一部ノ荒療ヲ整頓スルニ過ギス亦前
 橋下桁挫折シタル儘懸出シ航海ニ危険ナルヲ以テ行動ヲ起ス先キ之ヲ
 固縛シ再度ノ戰鬪ニ對シ支障ナカラシム爲メ全員ヲ擧手ゲ復旧ニ力ム
 午後八時尾崎ノ港ニ芽ニ浮標繫留ス午後十時余ニ依リ浪
 速ノ収容シタル捕虜百三十三名ヲ本艦ニ移ス
 〔信号〕
 午前七時七分敵見戰鬪部署者ニ就キ整備セバ其位置直ニ休憩セシム
 〔出雲〕
 午前五時十分原速十七哩〔出雲〕

午許六時十分右八点一齊回頭(此信號一度全揚セシモ直ニ否信

旗ヲ上げ實施スルニ至ラス)

午許六時五十分右十六点正回変換(出雲)

午許九時五十分吾レ九舷機ニ故障アリ(吾妻)

九時四十分未カ機械故障直ラザルヤ(本艦ヨリ吾妻)

未カ直ラス修理出来ズ速カ十三海里位ヨリ出ス能ハズ

(右返事)

午許十時十分何レニ行カルヤ統テ攻撃セシテ如何(本艦司令官ヨリ出雲)

リニリリツクニ向テ出雲)

十時三十分原速十五哩(出雲)

十時三十分今午早ヨリ新高ノ電九如感シテ多ク敵艦ヲ予リ

ハ我艦隊ニ破壊セラレ今進行出来ズ本艦ヨリ出雲)

十時四十分浪速高キ穂ハリニリツクノトメメツ刺シツアルヲ見

タリ汚承知ナルヤ

午前十時四十分原速十四哩(出雲)

十時五十分各艦ノ被レル主ニ損害ヲ示セ(出雲)

十一時 午前十時三十分「リユース」沈没ス(千早)

十時五十分 原速十二哩(出雲)

十時五十分 本艦損害、概畧報告ス六尹砲三門内一門ハ使用ノ見込

ミアリニ一砲一門探海燈一臺砲郭上下二個所破損

其他附近舷側端舷桁、甲板等損害甚シ亦后部下

甲板其他少シ損傷アリ戦死將校二名負傷四名内一名

重傷戦死下士卒三十、負傷二十、委細後ヲ其他差

當リ戦闘航海ニ差支ハナシ(本艦ヨリ出雲)

十時三十分 救助艇ヲ卸レ溺者ヲ救助スル準備ヲモ(出雲)

十時三十分 漂泊泊セヨ(出雲)

午前時三十分 充分ノ好意ヲ以テ捕虜ヲ取扱ヘ(出雲)

午前時三十分 二隻ノ敵艦ハ如何ニセシヤ(浪速ヨリ本艦)

二隻ノ敵ハ北航セリ(右返事)

午後時三十分 発射シタル弾数ヲ示セ(出雲)

午後時三十分 死傷將校ノ姓名ヲ知セ(出雲)

戦死原口大尉野田少尉重傷糸坂大尉軽傷野

村少佐管野少佐松村少尉美補生

午後時三十分 原口少佐ハ貴官ノ令併名譽ノ戦死ヲ遂ゲタリ(本艦)

浪速)

午後時三十分 武器ノ故障報告中十三所砲二門ヲ追加ス(本艦)

午後時三十分 収容総数或十四名内重傷二外軽傷十(芽三カ)

ヨリ報告)

午後時三十分 救助ヲ止メ(出雲)

〇時五十分 原速十五哩 (出雲)

午後一時十分 尾崎ニ向フ (出雲)

午後一時十分 針路南西ノ西ニ西 (出雲)

午後二時五分 各艦補充ス可キ彈藥ハ各砲種毎ニ至急知セ (出雲)

午後二時三十分 補虜ノ数ヲ通知セサル艦ニ官下士卒領ヲ通知シ士官ハ

姓名ヲ知セ又捕虜ノ内入院ヲ要ス可キ数ヲ知セ (出雲)

午後三時十分 補充ス可キ彈藥數先ノ如シ六尹砲九百九十六、十二所

砲四百五十二、八尹三百〇三、(本艦)

午後三時四十分 尾崎ノ港后破損ノ個所概畧戰死者ノ員數、捕虜

ノ數ヲ記載シ艦長持參ス可シ但シ准士官以上ハ姓名

ヲ要ス (出雲)

午後四時十分 針路南ノ西ニ西 (出雲)

午後五時四分 第三戰隊尾崎ノ捕虜ノ始末ヲ今夜中佐世保ニ

向ヶ出港ノ予定(出雲)

午後五時六分針路南西西南(出雲)

午後五時八分捕虜二十六内士官一名入院奇キモ士官一名下士以下七名

午後六時五分無線電信ヲ知ル所依ル貴艦死傷甚カ如シ愁傷

ニ堪テ死傷員數及ビ准士官以上ノ海姓名海知ラケル

(常盤ヨリ本艦)

戦死原口大尉野田少尉下士卒三十四名員傷野

村少佐菅野少佐兼段大尉松村少尉美補生

下士卒二十九名(右返事)

午後七時三十分貴艦ノ損害如何(本艦ヨリ常盤)

彈丸三個ヲ受ケタルモ皆要部ヲ避ケテ幸一員傭人

二名員傷死者ナシ(右返事)

午後七時十分第四戦隊ヨリ捕虜ヲ受ケ取レ(出雲)

午後七時五分今夜正子出港原速十二節(出雲)

午後九時 貴艦一行奇捕虜士官三名下士卒五十八名ナリ

對馬ヨリ本艦へ出雲ヨリ無線電信ニ依リ変更セ

ラタリ(右返事)

午後十時十分捕虜受取り済(本艦ヨリ出雲へ)

〔電文〕

午前五時十分出雲ヨリ大河内へ

敵見エ

午前七時五分千早ヨリ大河内へ

三八六地点ニテ交戦中

午前九時五分千早ヨリ新高對馬へ

今盛ニ交戦中A三八八地点三八八三八八

午前十時一分千早ヨリ新高對馬へ

敵艦リユーロツ多^ク吾^カ艦隊破壊サレ今進行出来ズ
午前十時四十分不明ヨリ新高^ト

吾^レ今三八七地点ニ於テ第四戰隊ニ合ス
新高ヨリ早^ク

十時三十分リユーロツ多^ク沈没第四戰隊何^レニテ^キ敵ノ
殘艦如何ニテ^リヤ

満足ナリ(右返事)

午後一時五分出雲ヨリ大河内^ト

大本營及ビ聯合艦隊長官尤^ク電打テ十四日天明

對馬北方ニ於テ浦塩艦隊ニ會シ激戰五時間^トリ

ソツク^クラ擊沈シ他ノ二隻ハ損害ヲ受ケ北方ニ遁走セリ
吾^カ損害輕少^ク要綱後報

午後二時三十分出雲ヨリ大河内^ト

尤世保長宛尤ノ軍機電打テ病院船尤世保ニアラバ
至急尾崎送ラセテ返待フ

午後二時四十分出雲ヨリ大河内へ

尤ノ余令艦隊司令傳ハシタレ今夜モ昨夜ノ如ク配
置シテ全カ海峡ヲ警戒ス可シ各哨區ノ先任司令明朝
一般ヲ止メ昼間ノ監視ニ任セシメ其他ハ尾崎ノ段港セシム可シ
出雲ヨリ浪速へ

午後四時

司令官ニ訓令貴官ハ對馬新高千早ヲシテ尾崎
入港後至急俘虜ヲ運送船ニ積シ直ニ出港翌天
明迄ニ「A」「B」「C」哨區ニアリテ各相當スル位置ニテラシム可シ
本艦ヨリ大河内へ

午後四時三十分

竹敷要港却テ傳ヘヨ棺桶三十個貴部ニ準備シテ本
艦入港ト今時ニ送ラセシメ若シ用意シナクハ材料ニテモ

0530

宜し本艦ハ五時頃入港予定

午後五時十分出雲ヨリ大河内へ

本隊ハ一應尾崎ニ入り今夜佐々保ニ向フ病院船ノ件取り止メラレタシ

午後五時十分大河内ヨリ出雲長官へ

八月十日午前十時十六分我々果領事ヨリノ電報ニ

依ル青嶋碇泊セル三隻ノ魯國艦隊ハ昨夜半独國

駆逐艦九十九号ト共出港セルガ今朝再ビ引返シ入港

セリ午後三時十分發

午後六時出雲ヨリ浪速へ

第四戰隊及び千早ノ捕虜ハ第二戰隊ノ四隻ニ合衆

セルム可シ運送船ニ乗セルコトヲ取リ止ム

午後六時十分大河内ヨリ出雲長官へ

八月十三日午前十一時三十分小田切上海領事ヨリノ
電報ニ依ルバ巡洋艦「アスニルド」「アウターバー」内ニ又駆
逐艦「ハグ」ヲ泊メテ港内ニテ午後二時三十分發
大河内ヨリ出雲ノ

午後七時五分
第三戰隊及ビ一等艦隊ヲ吳淞ニ遣リ全地ニレカス
ルト及ビ一ノ降伏又ハ撃沈セヨ茅四戰隊(ノ)ハ出
動シテ浦塩ノ敵ニ注意セヨ……信文不明午後
五時四十分發

午後七時五十分
出雲ヨリ浪速ノ
其隊ノ捕虜ノ數ヲ各艦ニテ知セ
捕虜數浪速百三十三高千穂百九十四名新高
十四對馬六十一

午後八時三十分出雲ヨリ怒艦ノ